

『立教映像身体学研究』編集方針

(2012 年 6 月 26 日)

1 | 『立教映像身体学研究』は、立教大学現代心理学部映像身体学科と同大学院現代心理学研究科映像身体学専攻が扱う専門的諸領域の教育、研究を促進するために発行する。

2 | 『立教映像身体学研究』は、立教大学現代心理学部映像身体学科と同大学院現代心理学研究科映像身体学専攻で学び、教え、研究する、学部学生とその卒業生、大学院生とその修了者、教職員とその経験者のための学術雑誌である。

3 | 『立教映像身体学研究』は立教大学大学院現代心理学研究科映像身体学専攻が発行し、編集は編集委員会が責任を持って行う。

4 | 誌面は、投稿原稿（論文、研究または制作の報告）、編集委員会の企画による依頼原稿や記事などから構成され、投稿原稿（論文と報告）の審査および採否の決定、その他の原稿や記事の執筆依頼は編集委員会が行う。

『立教映像身体学研究』第 1 号投稿規程

(2012 年 7 月 30 日)

[編集委員会注記。以下は第 1 号の投稿規程として告知したものです。第 2 号の投稿規程は 2013 年 6 月上旬までに映像身体学専攻の HP に掲載する予定です.]

1 | 原稿の内容

立教大学現代心理学部映像身体学科と同大学院現代心理学研究科映像身体学専攻が扱う専門的諸領域の教育、研究の発展に寄与する学術論文（以下「論文」）または研究ないし制作に関する報告（以下「報告」）の完成原稿であること。いずれも未発表のものに限る。

2 | 投稿資格

執筆者（共著の場合は筆頭執筆者）は、

- (1) 本学教員（兼任講師を含む）およびその経験者、
- (2) 本学大学院在学者または修了者、
- (3) 本学卒業生、
- (4) 編集委員会が特に認めた者

のいずれかとする。

3 | 応募受付（エントリー）

論文または報告の掲載を希望する者は、年度ごとの投稿募集で告知される期日までに、執筆者

名とその所属、題目（仮）と200字程度の概要（日本語）、連絡先（電子メールのアドレスと電話番号）を、編集委員会事務局宛に電子メールで届け出ること。

4 | 執筆要項

(1) 本文は原則として日本語とする。タイトル、著者名、所属は、和文と英文の両方で記述すること。論文には要旨とキー・ワードを付すこと。要旨の使用言語は原則として英語とし、日本語訳を添えること。

(2) 原稿はA4判の横書き、1ページ40字×30行、10.5ポイントの設定とする。

(3) 分量

論文は、本文、図版、注などを含めて全体で16,000～20,000字程度とする。

論文の英文要約は200語程度とする。

報告は、本文、図版、注などを含めて全体で10,000字以内を原則とする。

* 図版を挿入する場合には、図版の大きさを文字数に換算し、全体の文字数に含めることとする。ただし、図版はワード原稿に挿入せず、別のデータとして、挿入箇所を指定すること。

(4) 提出原稿の書式は『立教映像身体学研究』編集委員会が定めたスタイル・ガイドに準拠すること。スタイル・ガイドは立教大学現代心理学研究科のHPで公表する。

5 | 原稿の提出

(1) 原稿の提出締め切りは9月30日（必着、厳守）とする。

(2) 原稿はハード・コピー（論文は3部、報告は2部）と原稿ファイルの入った電子媒体を「立教大学現代心理学部事務室気付『立教映像身体学研究』編集委員会」宛に簡易書留または宅急便で送付すること。ファイルはワード形式とテキスト形式の双方とする。電子媒体（CDなど）について事前の相談が必要な場合は編集委員会宛にメールで連絡すること。

(3) 原稿には氏名を記載せず、下記の項目を明記した別紙1部を添えること（書式は自由）。氏名（ふりがな）、住所、電子メール・アドレス、電話番号、所属（学生の場合は学年も）、専門分野。

(4) 応募原稿と添付書類は返却しない。

6 | 掲載の採否

(1) 編集委員会が指定する査読者が審査し、その報告に基づき編集委員会が決定する。

(2) 採否の結果は、原稿提出時に届けられた住所宛に郵送する。

(3) 掲載のために修正を要すると編集委員会が判断した場合は、指定の期間内での修正を求めることがある。

注意事項：校正段階での加筆や削除は認められない。

7 | 著作権

本誌に掲載される論文や報告その他の記事の著作権は、立教大学大学院現代心理学研究科映像身体学専攻に帰属する。ただし、著者自身の研究・教育活動に使用する際は、本専攻の許可なく使用することができるものとする。